

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	ポートターミナル機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - 工 観光客受入体制の整備	
担当部課名	建設課		事業実施 年度	令和 2 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	島の玄関口である前泊港ポートターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観及び施設の利便性向上を図り、施設利用者の満足度を向上させ、さらなる観光客誘致を目指す。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計	
	A. 予算現額	15,608	37,583	5,115		58,306	
	B. 執行済額	12,870	32,450	5,115		50,435	
	うち 交付金充当額	10,296	25,960	4,092		40,348	
	執行率(％)(B/A)	82.5%	86.3%	100.0%	#DIV/0!	86.5%	
	執行状況の説明	R2年度: 沖縄県港湾課が実施する前泊港嵩上との乗り入れ調整が必要で設計を予定していたが、県側の設計が遅れたため今回の発注では含めなかった事に伴い減額となった。 R3年度: フェリーへの電源供給設備・ポートターミナルビルの電気設備・機械設備工事は完了したが、建築改修工事に伴う仮設建物設計に時間を要したため、設計業務を繰越した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	伊平屋村ポートターミナルビル等改修工事設計業務委託の実施	目 標	実施設計				
		実 績	実施設計完了				
	伊平屋村ポートターミナル電源供給改修工事	目 標		工事完了			
		実 績		工事完了			
	伊平屋村ポートターミナル仮設建設実施設計業務委託	目 標		実施設計			
		実 績		実施設計完了			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	伊平屋村ポートターミナルビル等改修工事設計業務委託の実施	目 標	導入完了				
		実 績	完了				
	伊平屋村ポートターミナル電源供給改修工事	目 標		工事完了			
		実 績		工事完了			
	伊平屋村ポートターミナル仮設建設実施設計業務委託	目 標		実施設計			
		実 績		実施設計完了			

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	【R5成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	目 標	80.0%	80.0%			
		実 績	未実施	81.6%			
		目 標					
		実 績					
	状 況 説 明	【令和5年度】 ・沖縄離島活性化推進事業費補助金による施設の機能強化整備を図っていたが、全国的な資材不足(電線ケーブル等)により工期の遅延が発生したため、令和6年度へ事故繰越しすることとなった。そのため、施設の利便性が確保されたかのアンケート調査について、事業完成後のR6年度に事業効果の検証を繰越して実施を図る。 【令和6年度】 ・全国的な資材不足(電線ケーブル等)により事故繰越しとなったが、令和6年6月末にて伊平屋村ポートターミナル改修工事および仮設建築物の撤去が完了し、令和6年7月より共用を開始した。また同年8月からアンケート調査を行った結果、満足度(利便性が確保された)が目標値より高くなり、事業効果が得られた。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和5年度】 ・R4年度から離島活性化推進事業費補助金による施設整備を実施していたが、事故繰越しにより事業完了が令和6年度にずれ込んでしまったため、アンケートを実施できなかった。施設完成後に利用者へ満足度の向上にかかるアンケート調査を実施する。 【令和6年度】 ・施設の機能強化したことにより、住民および観光客の満足度が高まり、目標値を上回る結果となり、事業効果が得られたものと考えられる。			【令和5年度】 ・事業効果の検証には施設機能強化整備の完成後に、利用者から利便性向上にかかるアンケート調査を実施し検証を図る。 【令和6年度】 ・引き続きアンケートなどにより、利用者のニーズ把握に努める。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【令和5年度】 ・沖縄離島活性化推進事業費補助金の活用により施設整備にかかる機能強化を図った。しかし、全国的な資材不足(電線ケーブル等)により、令和6年7月末までの工期延長を行ったことから、施設整備完成後に利用者の利便性向上にかかるアンケート調査により事業効果の検証を行う。 【令和6年度】 ・引き続き施設の検証を行いながら、観光客の受け入れ態勢の強化に向け必要な対応について、観光部局および村内観光関係機関と協議を行い、対応していきたい。							

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	学校給食機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 5 - -(3) - イ 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進	
担当部課名	教育委員会		事業実施 年度	令和 3	～令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)
事業内容	既存の施設機能を強化し、徹底した衛生管理を行う事で、安心・安全で安定的な学校給食の提供と、施設従事者の就労環境改善を推進し、もって児童生徒の健やかな発達と教育振興及び自立的行政機能維持、拡充を推進する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計	
	A. 予算現額	12,649				12,649	
	B. 執行済額	11,666				11,666	
	うち 交付金充当額	9,333				9,333	
	執行率(％)(B/A)	92.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.2%	
	執行状況の説明	・部品供給不足による納車遅延で、事業を令和4年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は92. 2%となり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実施設計業務	目 標	設計業務の 実施				
		実 績	設計業務の 完了				
	給食配送車の整備	目 標	1台				
		実 績	1台				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実施設計業務	目 標	設計業務の 実施				
		実 績	設計業務の 完了				
	給食配送車の納車	目 標	1台				
		実 績	1台				

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果			達成／進捗状況				
				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	微生物検査における衛生管理点数 90点以上		目 標	90点				
			実 績	未実施				
	就労者へのアンケート調査で就労環境が改善されたか(100%)		目 標	100%				
			実 績	未実施				
	状況説明	【令和6年度】 ・当該年度においては財政難により建設工事が実施できなかったことから、成果目標の達成には至らなかった。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R6年度】 ・想定していた就労環境の改善の効果については、財政難により建設工事を実施できなかったため、計画どおりの成果を発揮するには至らなかった。				【R6年度】 ・成果目標を達成するには、財源を確保した上で計画の実現可能性を精査し、早期に事業着手できる体制を整える必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R6年度】 ・今後は、財源確保に向けた取組を進めるとともに、事業計画の見直しや関係機関との調整を行い、早期の事業実施を目指す。								

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	公営墓地等整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 4 章 - 1 - (5) - イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり	
担当部課名	住民課		事業実施 年度	令和 4 ~ 令和 5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)	
事業内容	個人墓地の散在化を防ぎ、土地の有効利用を促進する。また、墓地所有に係る個人負担を軽減し生涯安心して生活できる環境づくりを行うため公営墓地を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	
	A. 予算現額	6,996	7,000			13,996	
	B. 執行済額	6,875	6,930			13,805	
	うち 交付金充当額	5,500	5,544			11,044	
	執行率(％)(B/A)	98.3%	99.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	98.6%	
	執行状況の説明	執行残については委託の契約額残による。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	・墓地基本計画の策定	目 標	計画の策定				
		実 績	策定完了				
	・墓地整備計画の策定	目 標		計画の策定			
		実 績		策定完了			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	・墓地基本計画の策定完了	目 標	計画の策定				
		実 績	策定完了				
	・墓地整備計画の策定完了	目 標		計画の策定			
		実 績		策定完了			

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		達成／進捗状況				
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	墓地行政アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	アンケート実施				
		実 績	未実施				
		目 標					
		実 績					
	状況説明	【R6年度】 墓地行政アンケートに代えて、各区での意見交換会を実施し、計画の理解促進及び意見聴取を行った。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R6年度】 基本計画策定時の住民アンケートとの重複を避けることが有効であると判断し、R6年度はアンケート調査ではなく、各区での意見交換会を実施した。墓地建設にあたっては住民理解が不可欠であることから、各区での意見交換会を実施した事により、集団墓地化や納骨堂での永代供養に関する理解促進及び意見聴取を行うことができ、次年度以降の墓地・納骨堂建設予定地の選定や仕様等についての検討及び実際の建設段階にスムーズに移行することができる。			【R6年度】 引き続き、住民理解を求め、スムーズな事業進捗に努める。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R6年度】 整備計画に基づき、伊平屋村納骨堂建設検討委員会を設置し、墓地・納骨堂建設予定地の選定や仕様等について検討する。 また、本事業は納骨堂での永代供養を可能とすることで、仏壇が不要となり、仏壇の存在が障壁となっている空き家の売却・賃貸の利活用が期待されるものであることから、空き家対策等関連事業との連携を図り、村の課題である移住希望者等の住宅不足の解消に繋げていく。							